

秋田工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	医療・福祉工学概論			
科目基礎情報								
科目番号	0053		科目区分	専門 / 選択				
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1				
開設学科	創造システム工学科 (マテリアル・プロセス工学コース)		対象学年	5				
開設期	後期		週時間数	1				
教科書/教材	福祉工学 手嶋教之 他著 コロナ社							
担当教員	宮脇 和人							
到達目標								
1. 福祉とその理念が理解できる。 2. ユニバーサルデザインの概念が理解できる。 3. 視覚障害者用機器、聴覚言語障害者用機器、移動機器などの福祉機器の仕組みや利用方法が理解できる。								
ループリック								
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目1	福祉とその理念が理解できる。		福祉とその理念が理解できる。		福祉とその理念が理解できない。			
評価項目2	ユニバーサルデザインの概念が理解でき、新しい製品を設計できる。		ユニバーサルデザインの概念が理解できる。		ユニバーサルデザインの概念が理解できない。			
評価項目3	移動機器などの福祉機器の仕組みや利用方法が理解でき、新しい製品を設計できる。		移動機器などの福祉機器の仕組みや利用方法が理解できる。		移動機器などの福祉機器の仕組みや利用方法が理解できない。			
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	福祉とは特定の人たちだけに存在するものではなく、全てのひとの幸せを考えなければならない。福祉工学も高齢者や障害者だけが対象ではなく小さい子供や妊婦、日本語がわからない外国人など日常生活で不便を感じる人全員が対象である。そのため医学や社会学、工学など様々な学問領域が融合する。この講義では工学の知識が福祉に役立つことを示す。							
授業の進め方・方法	基本的には講義形式で行う。必要に応じて理解度を確認するためのチェックテストを実施する。また、レポートを課す。							
注意点	予習は教科書の精読、復習はプリントの整理。授業には集中して取り組むこと。いままでに体験した福祉機器 (車椅子、歩行器、電動ベッドなど) の内容を理解すること。合格点は60点である。							
授業の属性・履修上の区分								
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
		週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	授業ガイダンス 福祉とその理念	授業の進め方と評価の仕方について説明する。福祉の必要性を学ぶ。				
		2週	視覚障害者用機器・聴覚言語障害者用機器QOLと自立	視覚障害者用の福祉機器が理解できる。 聴覚言語障害者用の福祉機器が理解できる。				
		3週	電動車いす・移乗機器・福祉車両	移動機器のしくみが理解できる。				
		4週	コミュニケーション機器	コミュニケーション機器が理解できる。				
		5週	基本生活支援機器、建築・交通	基本生活支援機器、建築・交通が理解できる。				
		6週	ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザインの概念が理解できる。基本的な生活支援機器が理解できる。				
		7週	福祉ロボット	福祉ロボットのしくみが理解できる。				
		8週	リハビリテーション工学	リハビリテーションのチームが理解できる。				
	4thQ	9週						
		10週						
		11週						
		12週						
		13週						
		14週						
		15週						
		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	レポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力	40	0	0	0	0	0	40	
専門的能力	40	0	0	0	0	0	40	
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20	